

平成 27 年度日本医学会の活動

高久 史磨

Fumimaro Takaku
日本医学会会長

1. 日本医学会総会

1) 「第 29 回日本医学会総会 2015 関西」の終了報告

第 29 回日本医学会総会は、井村裕夫会頭、本庶 佑副会頭、山岸久一副会頭、平野俊夫副会頭、高井義美副会頭、森 洋一副会頭、三嶋理晃準備委員長の下、「医学と医療の革新を目指して～健康社会を共に生きるきずなの構築～」とメインテーマを定め、2015 年 3 月から 4 月にかけて、京都を中心に初めてオール関西で開催した。すなわち学術講演、学術展示、医学史展は京都で、一般公開展示は神戸で、プレイベントとして産官学の新たな連携を目指した「医と健康フォーラム 2015 関西」を大阪で開催し、いずれの会場でも多くの方々の参加を得た。また「きずなの構築」とうたったように、これからの医療は提供する側のみでなく、受ける側との連携が必要であるという認識に立ち、「医総会 WEEK」と銘打って 9 日間にわたる講演会シリーズを一般市民向けにも開催し、これら全企画をあわせ計約 40 万人が参加する総会となった。

学術講演は、皇太子殿下のご臨席を賜った開会式に始まり、テーマを「医学」「医療」「きずな」の三つに分け、個々の学会では議論されることの少ない専門分野横断的な医学・医療の重要課題を「20 の柱」として幅広く取り上げ、多方面から議論した。また、開かれた総会をめぐって、18 の企画を一般市民にも公開し、関西地区の 16 大学から集まった医学、薬学、看護学の学生たちが「医療チーム・学生フォーラム」として 3 年間にわたる勉強の成果を発表し、さらには幅広く産業界からも参画したシンポジウムを実施した。

学術展示は、京都の 2 会場で実施し、また、一般公開展示は、「未来医 XPO'15 ～あなたの暮らしと医の博覧会～」をテーマとして、子供たちの春休み期間に合わせて神戸で開催し、初めて政府からの展示発表による参加も得て、医療関係者、子供から大人までの一般市民、産業界、政府が一堂に会する場となった。

医学史展は、「医は意なり—いのちを守る知のあゆみ—」をテーマとして、京都大学総合博物館において開催し、展示期間中の週末には市民参加セミナー「医学史サロン」として一般市民や学生向けに医学史にまつわる種々のテーマに関する講演会を実施し、さらに京都国際マンガミュージアムにて共催展示「医師たちのブラック・ジャック展」も開催した。

ソーシャルイベントは、15 種を実施し、一部の種目は一般市民にも公開して約 1,500 名以上の参加を得た。

日本医師会、全国都道府県の医師会、政府・地方自治体、産業界、市民の皆さま、そして分科会の先生方をはじめ関係する全ての方々の多大なるご尽力によって、このような従来になかったような企画を多く盛り込んだ総会を開催にまでたどり着くことができ、成功裏に終えることができた。

2) 30 回日本医学会総会 2019 中部」の準備

第 30 回日本医学会総会（2019 年）は、中部地区で開催することとし、その準備状況としては、2015 年 12 月現在、下記の諸点が決定している。

①役員

会 頭	齋藤 英彦	名古屋大学名誉教授
副 会 頭	松尾 清一	名古屋大学総長
副 会 頭	柵木 充明	愛知県医師会長
副 会 頭	郡 健二郎	名古屋市立大学長
副 会 頭	森脇 久隆	岐阜大学長
副 会 頭	駒田 美弘	三重大学長
副 会 頭	中村 達	浜松医科大学長
副 会 頭	星長 清隆	藤田保健衛生大学長
副 会 頭	佐藤 啓二	愛知医科大学長
準備委員長	高橋 雅英	名古屋大学教授・医学系研究科長
顧 問	横倉 義武	日本医師会長
顧 問	井関 尚一	金沢大学医薬保健学域長
顧 問	眞弓 光文	福井大学長
顧 問	遠藤 俊郎	富山大学長
顧 問	池田 修一	信州大学医学部長
顧 問	三宅 養三	愛知医科大学理事長
顧 問	勝田 省吾	金沢医科大学長
顧 問	小林 博	岐阜県医師会長
顧 問	青木 重孝	三重県医師会長
顧 問	篠原 彰	静岡県医師会長
顧 問	近藤 邦夫	石川県医師会長
顧 問	大中 正光	福井県医師会長
顧 問	馬瀬 大助	富山県医師会長
顧 問	関 隆教	長野県医師会長
顧 問	杉田 洋一	名古屋市医師会長
顧 問	堀田 知光	国立がん研究センター理事長
顧 問	鳥羽 研二	国立長寿医療研究センター理事長
総務委員長	長谷川 好規	名古屋大学教授
プログラム委員長	門松 健治	名古屋大学教授
展示委員長	若林 俊彦	名古屋大学教授
財務委員長	石黒 直樹	名古屋大学教授・病院長
広報委員長	浅井 清文	名古屋市立大学教授・医学研究科長
登録委員長	湯澤 由紀夫	藤田保健衛生大学教授・病院長
記録委員長	大野 欽司	名古屋大学教授
式典委員長	佐藤 啓二	愛知医科大学長
幹 事 長	村田 誠	名古屋大学講師

②会期

学術集会：2019（平成 31）年 4 月 27 日（土）～ 4 月 29 日（月）（予定）

学術展示：2019（平成 31）年 4 月 26 日（金）～ 4 月 29 日（月）（予定）

公開展示：2019（平成 31）年 3 月 30 日（土）～ 4 月 7 日（日）（予定）

医学史展：2019（平成 31）年 3 月 2 日（土）～ 4 月 25 日（木）（予定）

③会場

学術集会：名古屋国際会議場，愛知県産業労働センター

学術展示：名古屋国際会議場，愛知県産業労働センター

公開展示：ポートメッセなごや

医学史展：名古屋大学博物館

④主務機関

名古屋大学医学部，名古屋市立大学医学部，岐阜大学医学部，三重大学医学部，浜松医科大学，藤田保健衛生大学医学部，愛知医科大学医学部，金沢大学医学類，福井大学医学部，富山大学医学部，信州大学医学部，国立長寿医療研究センター，愛知県医師会，岐阜県医師会，三重県医師会，静岡県医師会，石川県医師会，福井県医師会，富山県医師会，長野県医師会，名古屋市医師会

⑤メインテーマ

「医学と医療の深化と広がり ～健康長寿社会の実現をめざして～」(案)

⑥事務局

「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」事務局

組織委員会事務局長 青山 正晴

事務局アドバイザー 宇佐美 克之

〒 466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学医系研究棟 3 号館内

Tel：052-744-2515（直通）

E-mail：isoukai-jim@med.nagoya-u.ac.jp

2. 医学会幹事会

第 12 回日本医学会幹事会を，平成 28 年 2 月 17 日（水）に開催。主な議題は，「平成 27 年度日本医学会年次報告」，「平成 28 年度日本医学会事業計画」，「日本医学会新規加盟学会」等である。

3. 医学会定例評議員会

第 83 回日本医学会定例評議員会を，平成 28 年 2 月 17 日（水）に開催。主な議題は，「平成 27 年度日本医学会年次報告」，「平成 28 年度日本医学会事業計画」，「日本医学会新規加盟学会」等である。

4. 日本医学会シンポジウム

1) 日本医学会シンポジウム

●第 147 回日本医学会シンポジウム

第 147 回日本医学会シンポジウムは、「わが国の高齢者医療をめぐる諸問題」をテーマに平成 27 年 6 月 4 日（木）、日本医師会館大講堂にて開催した。組織委員：大内尉義（虎の門病院 病院長）、秋下雅弘（東京大学大学院医学系研究科教授・加齢医学）、辻 哲夫（東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授）、参加者数：234 名。

●第 148 回日本医学会シンポジウム

第 148 回日本医学会シンポジウムは、「新しいがん免疫療法」をテーマに平成 27 年 12 月 24 日（木）、日本医師会館大講堂にて開催した。組織委員：間野博行（東京大学大学院医学系研究科教授・細胞情報学）、岩井佳子（産業医科大学医学部教授・分子生物学）、上田龍三（愛知医科大学教授・腫瘍免疫 寄附講座）、参加者数：336 名。

2) 日本医学会シンポジウム企画委員会

標記委員会（委員：間野博行、坂元亨宇、小室一成、吉野一郎、武林 亨）は、日本医学会シンポジウムの基本方針、テーマおよび組織委員について企画構成を行う。今年度は次のとおり 2 回開催した。

第 23 回委員会（平成 27 年 5 月 13 日）において、第 148 回シンポジウムのテーマを決定した。

第 24 回委員会（平成 27 年 11 月 18 日）において、第 149 回シンポジウムのテーマを決定した。

3) 日本医学会シンポジウム記録（DVD）

「第 147 回日本医学会シンポジウム」、「第 148 回日本医学会シンポジウム」の全容を、DVD に制作し、関係各位に謹呈した。

また、DVD の内容は、日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」の項で映像配信した（URL：<http://jams.med.or.jp/>）。

④日本医学会シンポジウムの要旨

要旨は、日本医師会雑誌に次のとおり掲載した。第 147 回日本医学会シンポジウム「わが国の高齢者医療をめぐる諸問題」：第 144 巻第 7 号（平成 27 年 10 月号）、第 148 回シンポジウム「新しいがん免疫療法」：第 144 巻第 12 号（平成 28 年 3 月号）

5. 日本医学会公開フォーラム

1) 日本医学会公開フォーラム

日本医学会では、市民を対象にした次のとおり 2 回開催した。

●第 18 回日本医学会公開フォーラム

第 18 回日本医学会公開フォーラムは、「前立腺がん」をテーマに平成 27 年 7 月 4 日（土）、日本医師会館大講堂にて開催した。組織委員長：野々村祝夫（大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学（泌尿器科）教授）、参加者数：218 名。

●第 19 回日本医学会公開フォーラム

第 19 回日本医学会公開フォーラムは、「胃がん－ここまで進んだ診断と治療－」をテーマに平成 27 年 12 月 26 日（土）、日本医師会館大講堂にて開催した。組織委員長：今野弘之（浜松医科大学副学長・病院長）、参加者数：201 名。

2) 日本医学会公開フォーラム企画委員会

日本医学会公開フォーラム企画委員会（委員：跡見 裕，池田康夫，南 砂，小森 貴）は、日本医学会公開フォーラムの基本方針，テーマおよび組織委員について，企画構成を行う。今年度は，次のとおり 2 回開催した。

第 19 回委員会（平成 27 年 5 月 13 日）において，第 19 回日本医学会公開フォーラムのテーマと組織委員長を決定した。

第 20 回委員会（平成 27 年 11 月 18 日）において，第 20 回日本医学会公開フォーラムのテーマと組織委員長を決定した。

3) 日本医学会公開フォーラム記録（DVD）

「日本医学会特別公開フォーラム～第 29 回日本医学会総会 2015 関西プレイベント～いのちを考える」，「第 18 回日本医学会公開フォーラム：前立腺がん」のフォーラムの全容を，DVD に制作し，関係各位に謹呈した。

また，DVD の内容は，日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」の項で映像配信した（URL：<http://jams.med.or.jp/>）。

6. 日本医学会医学用語管理委員会

日本医学会医学用語管理委員会は，委員長：脊山洋右（医学中央雑誌刊行会理事長），副委員長：大江和彦（東京大学大学院教授），小野木雄三（国際医療福祉大学三田病院教授），河原和夫（東京医科歯科大学大学院教授），坂井建雄（順天堂大学大学院教授），清水英佑（中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター所長），田中牧郎（明治大学国際日本学部教授），辻 省次（東京大学大学院教授），森内浩幸（長崎大学大学院教授），山口 巖（茨城県総合健診協会顧問），山口俊晴（癌研有明病院病院長）の 11 名により構成されている。

本年度は以下のように 3 回開催した。第 12 回医学用語管理委員会（平成 27 年 6 月 9 日開催），第 13 回医学用語管理委員会（平成 27 年 10 月 28 日開催），第 14 回医学用語管理委員会（平成 27 年 12 月 1 日開催）。

7. 日本医学会分科会用語委員会

平成 27 年度日本医学会分科会用語委員会を平成 27 年 12 月 1 日に開催した。主な議題は，1. 分科会における医学用語集の作成あるいは改定に際しての提言，2. 日本医学会医学用語辞典 用語比較の書式 & 更新内容，3. 指定難病名に対する日本医学会医学用語管理委員会の対応，4. 医療現場で繁用される用語に関する問題提起，5. 標準病名マスターとその周辺の話題，6. 質疑応答等であ

る。

8. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

医学賞・医学研究奨励賞の選考作業は、日本医学会が日本医師会より委任されているもので、本年度は平成 27 年 9 月 2 日（水）に開催された。

委員に加え、本年度は、特例委員として、小林廉毅（東京大学大学院医学系研究科教授）、横山和仁（順天堂大学医学部教授）滝川 一（帝京大学医学部主任教授）、植木浩二郎（東京大学大学院医学系研究科特任教授）、高橋 浩（日本医科大学大学院教授）、の 5 氏が加わった。

結果は、医学賞 4 名、医学研究奨励賞 15 名が選考され、11 月 1 日の日本医師会設立記念医学大会において表彰された。なお、医学賞受賞者の論文を日本医師会雑誌（第 144 巻第 9 号）に掲載した。

●平成 27 年度日本医師会医学賞

- ・慢性炎症・癌化に関わる新しいユビキチン修飾系の発見
岩井一宏／京大・細胞機能制御学
- ・生活習慣病のリスク要因解明と予防対策の評価に関する公衆衛生学的研究
磯 博康／阪大・公衆衛生学
- ・高血圧の発症の分子メカニズム
藤田敏郎／東大先端科学技術研究センター
- ・がん外科手術手技に関する臨床研究法の確立とそれを用いた胃がんリンパ節郭清の標準化
笹子三津留／兵庫医大・外科学

●平成 27 年度日本医師会医学研究奨励賞

- ・分子イメージングによるがんのコンパニオン診断とイメージングに基づいた光線治療法の開発
光永真人／慈恵医大・内科学
- ・褐色・白色脂肪細胞における転写・エピゲノム制御と肥満症における意義
脇 裕典／東大・脂肪細胞機能制御学
- ・ストーマ患者に対する新たな同種複合組織移植研究
荒木 淳／東大・形成外科・美容外科学
- ・子宮内膜由来の着床障害による不妊症の関連遺伝子の解析
黒田恵司／順天堂大・産科婦人科学
- ・医師の健康支援に関する産業保健的介入のあり方の検討
和田耕治／国立国際医療研究センター
- ・心不全特異的な BNP 転写誘導メカニズムの解明による新たな経口心不全治療薬開発の試み
塚本 蔵／阪大・医化学
- ・肺癌化学療法に伴う免疫耐性機構の動的変化を克服する化学免疫療法の基盤開発とその制御
大植祥弘／川崎医大・呼吸器内科学
- ・消化器癌における常在微生物群ゲノムの解析と分子異常・免疫応答・環境因子との関連
能正勝彦／札幌医大・消化器・免疫・リウマチ内科学
- ・炎症性腸疾患における腸内細菌叢パターン解析による新たな診断分類、治療選択手法の確立

高山哲朗／東海大・内科学

- ・臓器間神経ネットワークによる体重調節機構の解明に基づく新規肥満治療薬の開発

山田哲也／東北大・糖尿病代謝内科学

- ・CTC チップを用いた循環腫瘍細胞捕捉と低侵襲的な新規腫瘍確定診断法の確立

横堀武彦／群馬大・病態腫瘍薬理学

- ・食道癌における“がん代謝”に関わる epigenomic biomarker の網羅的解析

馬場祥史／熊本大・消化器外科学

- ・聴覚機能の成立に関わるアクチン制御機構の解明

坂口博史／京府医大・耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

- ・メタボリックシンドロームにおける尿路結石促進機序の解明と分子標的治療への応用

岡田淳志／名市大・腎・泌尿器科学

- ・次世代型偏光感受性光干渉断層計による術後瘢痕化評価

福田慎一／筑波大・眼科学

9. 日本医学会加盟検討委員会

日本医学会加盟検討委員会の委員は、委員長：久道 茂（宮城県対がん協会会長）、委員：佐谷秀行（慶應義塾大学医学部教授）、深山正久（東京大学大学院医学系研究科教授）、松島綱治（東京大学大学院医学系研究科教授）、今中雄一（京都大学大学院医学研究科教授）、中村裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）、川崎誠治（順天堂大学医学部主任教授）、島田和幸（小山市民病院病院長）、坂田隆造（神戸市立医療センター中央市民病院院長）、別役智子（慶應義塾大学医学部教授）、田宮菜奈子（筑波大学医学医療系教授）、天谷雅行（慶應義塾大学病院副病院長）、辻 一郎（東北大学大学院医学系研究科教授）の13名である。

平成27年度第1回日本医学会加盟検討委員会は平成27年11月13日に開催した。今年度の加盟申請の28学会についての審査を慎重に行い、その結果を日本医学会協議会に提出した。因みにこの審査は、日本医学会加盟検討委員会報告（平成23年7月）に示された新たな審査基準に基づいて行われている。

10. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

平成23年度に発足した委員会で、日本医学会として遺伝情報の取り扱い、検査の質保証、提供体制などに取り組むことを目的としている。委員長：福嶋義光（信州大学医学部遺伝医学・予防医学教授）、委員：鎌谷直之（株式会社スタージェン情報解析研究所長）、高田史男（北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝医学教授）、中村清吾（昭和大学医学部乳腺外科教授／大学病院ブレストセンター診療科長）、宮地勇人（東海大学医学部基盤診療医学系臨床検査学教授）、五十嵐 隆（国際成育医療研究センター理事長・総長）、小西郁生（京都大学大学院産婦人科学教授）の7名で構成されている。

第11回委員会は、平成27年7月17日に開催した。主な議題は、1. 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度について、2. 平成25年度母体血を用いた出生前遺伝学的検査の実施報告 3. 厚生労働科学特別研究事業「遺伝情報・検査・医療の適正運用のための法制化へ向けた遺伝医療政策研究」、4.

その他である。

11. 「母体血を用いた出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会

「遺伝子・健康・社会」検討委員会の部会として平成 25 年 3 月に発足し、主に施設の認定、登録を行っている。久具宏司（委員長：東京都立墨東病院産婦人科部長）、澤 倫太郎（日本医科大学女性生殖発達病態学講師）、榊原秀也（横浜市立大学附属総合医療センター婦人科部長・准教授）、川目 裕（東北メディカル・バンク機構教授）、高田史男（北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝学教授）、丸山英二（神戸大学大学院法学研究科教授）の 6 名により構成されている。

12. 日本医学会利益相反委員会

平成 22 年度に発足した「日本医学会臨床部会利益相反委員会」を、平成 24 年度に「日本医学会利益相反委員会」に改称した。委員長：曾根三郎（徳島大学名誉教授／徳島市病院事業管理者）、委員：土岐祐一郎（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授）、萩原誠久（東京女子医科大学大学院医学研究科主任教授）、朴 成和（国立がん研究センター中央病院消化管内科長）、前川 平（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部教授）、小笠原彩子（南北法律事務所弁護士）、加藤益弘（東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ（TR 機構）特任教授）の 7 名で構成。

本委員会と日本医学会連合研究倫理委員会と日本医学雑誌編集者組織委員会との三委員会合同委員会を、平成 27 年 5 月 15 日に開催した。主な議題は、①各委員長からの挨拶と取り組み状況、②研究倫理教育研修会について等であり、その後、研究倫理教育研修会を開催した。

第 12 回委員会は、平成 27 年 10 月 1 日に開催した。主な議題は、①第 11 回利益相反委員会ならびに 3 委員会合同委員会議事録、②日本医学会利益相反委員会活動経緯、③日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告、④製薬協「医療用医薬品製品情報概要等に関する作成要領」、⑤今年度の課題：Clinical practice guideline と COI 管理、⑥日本医学会 医学研究の COI マネージメントに関するガイドライン改定、⑦ COI 管理に関する各分科会へのアンケート調査（ガイドライン・指針等含む）、⑧第 2 回研究倫理教育研修会（3 委員会合同）開催等についてについて意見交換を行った。

第 13 回委員会は、平成 28 年 3 月 28 日に開催された。①第 2 回研究倫理教育研修会（3 委員会合同）開催、②日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告、③診療ガイドライン策定にかかる COI 管理、④診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス案等について意見交換を行った。

13. 日本医学雑誌編集者組織委員会

日本医学雑誌編集者組織委員会は、平成 20 年に発足した。委員構成は、委員長：北村 聖（東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター教授）、委員：木内貴弘（東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワーク研究センター教授）、北川正路（東京慈恵会医科大学学術情報センター課長補佐）、津谷喜一郎（東京有明医療大学保健医療学部特任教授）、根岸正光（国立情報学研究所名誉教授）、三沢一成（特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会専務理事）、湯浅保仁（東京

医科歯科大学名誉教授), 吉岡俊正 (東京女子医科大学理事長・学長) の8名である。

本委員会と日本医学会連合研究倫理委員会と日本医学会利益相反委員会との三委員会合同委員会を, 平成27年5月15日に開催した。主な議題は, ①各委員長からの挨拶と取り組み状況, ②研究倫理教育研修会について等であり, その後, 第1回研究倫理教育研修会を開催した。

第17回日本医学雑誌編集者組織委員会を, 平成27年10月26日に開催した。①「医学雑誌編集のガイドライン」について (発行報告, 各学会からのコメントへの回答・補足説明のWeb掲載), ②APAME 2015 (マニラ) (2015年8月開催), ③日本医学会利益相反委員会活動報告, ④第15回アジア西太平洋地域倫理委員会フォーラム (FERCAP) 国際会議, ⑤第8回日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) 総会・シンポジウム, ⑥第2回研究倫理教育研修会等について意見交換を行った。

14. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で, 研究倫理のあり方, 研究倫理問題の予防と発生時の対応について情報を共有し, 各分科会会員の教育啓発に活かすことを目的として, 日本医学会連合研究倫理委員会, 日本医学雑誌編集者組織委員会, 日本医学会利益相反委員会合同で, 第1回目となる研究倫理教育研修会を, 「医学研究倫理を考える」をテーマとして, 平成27年5月15日に開催した。詳細は, 日本医学会ホームページに掲載したので, 参照いただきたい。

シンポジウムは, 河上 裕 (日本医学会連合研究倫理委員会委員長), 北村 聖 (日本医学雑誌編集者組織委員会委員長), 曾根三郎 (日本医学会利益相反委員会委員長) の座長の下, 下記のプログラムで開催された。

- ・医学研究と倫理／河上 裕 (慶應義塾大学医学研究科委員長)
- ・医学研究成果公表における著者四角と研究不正およびその防止／北村 聖 (東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター教授)
- ・医学系研究に係る利益相反マネジメントの考え方とその実際／曾根三郎 (徳島大学名誉教授／徳島市病院事業管理者)
- ・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の概要／福井次矢 (聖路加国際大学理事長／聖路加国際病院院長)
- ・あらためて研究倫理とは何か～医の倫理との異同を考える／櫛島二郎 (東京財団研究員)

15. 移植関係学会合同委員会

平成4年4月に発足した移植関係学会合同委員会は厚労省, 日本医師会, 関係学会で構成されており, 世話人を日本医学会長が務めている。

16. 日本医学会だより

平成元 (1989) 年度より発行している日本医学会だより (JAMS News) は, 本年度, 5月にNo.53を, 10月にNo.54を発行した (綴じ込みの「日本医学会だより」を参照)。

17. 情報発信

平成 12 年 10 月に日本医学会のホームページを開設した。日本医学会分科会の協力を得て、本会のホームページ（URL：http://jams.med.or.jp/）と分科会ホームページをリンクしている。

18. その他

- 1) 「日本医学会分科会一覧」を平成 27 年 8 月に作成，関係各方面に配付した。
- 2) 「平成 27 年日本医学会分科会総会一覧」を平成 27 年 12 月に関係各方面に配付した。